

各位

上場会社名 株式会社 スーパー大栄  
 代表者 代表取締役社長 中山 勝彦  
 (コード番号 9819)  
 問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 阪本 博美  
 (TEL 093-602-2770)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月18日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,300	20	0	△70	△10.08
今回発表予想(B)	13,651	△66	△86	△63	△9.16
増減額(B-A)	△648	△86	△86	6	
増減率(%)	△4.5	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	14,312	55	39	△105	△15.12

#### 修正の理由

当第2四半期累計期間の小売業界は、消費者の生活防衛意識はますます高まり、低価格志向が定着化してまいりました。特に最近では、業態を越えた価格競争が激化するなど熾烈なサバイバルムードが漂っており、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社は顧客のニーズにマッチした低価格志向の店作りを目指し、新たに「サンディ事業部」を新設いたしました。サンディ事業部の第1号店として、SM店舗の大橋店を9月に業態変更し、ディスカウントストア「サンディ行橋店」として新規開店いたしました。また、既存のSM事業部、D&D事業部は小改装で店舗の活性化を図り、鮮ど市場事業部は人事体制の刷新でモチベーションの高揚を図ってまいりました。

しかしながら、春先の日照不足で野菜が高騰、夏の記録的な猛暑の影響で農作物が例年に比べて大幅な不作となり商品の入荷量が激減いたしました。また、鮮魚部門においても海水温の高温化で海の生態系が変わり漁獲量が大幅に減るなど、青果・鮮魚とも異常な品不足と高騰で、予定通りの品揃えが出来ず集客力の低下を招く結果となりました。

特に、鮮ど市場店舗におきましては、店舗が集積する商圈内に競合店が集中し、異常なまでの低価格の乱売競争が激化したのに加え、天候不順による商品の入荷量減少で売上高は大きく減少いたしました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は13,651百万円(前年同四半期比4.6%減)、営業損益は66百万円の営業損失(前年同四半期は55百万円の営業利益)、経常損益は86百万円の経常損失(前年同四半期は39百万円の経常利益)となり、四半期純損益は固定資産除却損などの特別損失25百万円や法人税等調整額△56百万円他の計上により63百万円の四半期純損失(前年同四半期は減損損失などの特別損失119百万円他の計上により105百万円の四半期純損失)となる見込みであります。

なお、当期の通期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)の業績予想に変更はございません。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により上記予想数値とは異なる結果となる場合があります。

以上